

令和2年度第1回 少年自然の家運営委員会

日 時 令和3年2月25日(木)
午前10時00分
場 所 水戸市少年自然の家大研修室

次 第

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 報 告
 - (1) 令和2年度利用状況について
 - (2) 令和2年度主催事業について
- 4 協 議
 - (1) 令和3年度運営方針(案)について
 - (2) 令和3年度主催事業(案)について
- 5 その他
- 6 閉 会

4 報 告

(1) 令和2年度利用状況について

ア 滞在日数別利用状況について

(下段：令和元年度同期)

実利用者 人数	滞在日数別利用者数				稼動 日数	延利用者数
	1日	1泊2日	2泊3日	3泊4日 以上		
4,884人 (13,184)	4,037人 (3,405)	847人 (8,515)	0人 (764)	0人 (500)	85日 (203)	5,731人 (25,365)

イ 対象別利用状況について

(下段：令和元年度同期)

対 象	幼・保	小学校	中学校	少年団体	その他	合 計
団体数	6団体 (16)	38団体 (55)	1団体 (14)	29団体 (112)	11団体 (46)	85団体 (243)
人 数	319人 (672)	3,111人 (4,070)	135人 (1,586)	963人 (4,670)	356人 (2,186)	4,884人 (13,184)

ウ 月別利用者数について

(下段：令和元年度同期)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
団体数	0団体 (13)	0団体 (22)	3団体 (29)	8団体 (24)	5団体 (37)	16団体 (39)
人数	0人 (669)	0人 (1,981)	140人 (1,902)	454人 (1,387)	138人 (1,771)	908人 (1,794)
月	10月	11月	12月	1月	合 計	
団体数	22団体 (35)	17団体 (32)	12団体 (9)	2団体 (3)	85団体 (243)	
人数	1,433人 (1,847)	1,142人 (1,315)	629人 (422)	40人 (96)	4,884人 (13,184)	

エ 過去6年間の年度別利用状況について

	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
団体数	42団体	3団体	201団体	212団体	243団体	85団体
実人数	2,730人	133人	11,309人	12,039人	13,184人	4,884人
延人数	4,390人	133人	20,250人	22,010人	25,365人	5,731人

※ 令和2年度については、令和3年1月31日現在です。

(2) 令和2年度主催事業について (は新規事業, ×は新型コロナウイルスの影響で中止)

行事名	期日	参加人数	趣旨
四季の体験学習 ①田植え	5月17日(日)	募集60名	緑豊かな少年自然の家で、四季を通して自然に親しみながら米作りを体験する。 ・田植え体験 ・仲間づくり
四季の体験学習 ①草取り	6月14日(日)		・草取り体験 ・じゃがいも掘り
ウォーターロケットプロジェクト ※抽選実施 応募総数83名 ①基本形ロケット	7月5日(日)	募集30名 男22名 女8名 計30名	ロケットが飛ぶ仕組みについて体験を通して学び、宇宙や航空などの科学技術に興味を抱かせる。 ・基本形ロケット製作
サマーキャンプ ※抽選実施 応募総数252名	7月25日(土) ～7月26日(日)	募集54名 男23名 女25名 計48名 ★ボランティア7名	夏休みの2日間、キャンプ生活や野外活動を通して、心身を鍛練するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。
ウォーターロケットプロジェクト ②パラシュート付ロケット	9月6日(日)	男21名 女8名 計29名	・パラシュート付ロケット製作
四季の体験学習 ③稲刈り	9月20日(日)		・稲刈り体験(刈り方, 束ね方) ・おだかけ体験
ウォーターロケットプロジェクト ③ダブル・タンクロケット	10月25日(日)	男21名 女8名 計29名	・ダブル・タンクロケット製作
四季の体験学習 ④収穫祭	11月1日(日)		・カレーライス作り ・さつまいも掘り
秋の味覚狩り ※抽選実施 応募総数168家族	11月8日(日)	募集10家族 未就学児4名 児童9名 男3名 女6名 保護者13名 計9家族26名	少年自然の家近くの果樹園でりんご狩りを行い、収穫したりんごを使ってアップルパイ作りに挑戦し、実り豊かな秋を感じてもらう。
ウォーターロケットプロジェクト ④二段式水ロケット	11月15日(日)	男19名 女7名 計26名	・二段式水ロケット製作

行事名	期日	参加人数	趣旨
冬のデコレーション ※抽選実施 応募総数 91 名	12 月 6 日 (日)	募集 15 名 児童 15 名 男 7 名 女 8 名 保護者 14 名 計 29 名 ★サブリーダー 14 名	ジェルを用いたキャンドル作りとサンタクロースのマスコット作りを通して、親子のふれ合いの時間を大切にする。
ふたご座流星群2020 ※抽選実施 応募総数 265 家族	12 月 12 日 (土) ～12 月 13 日 (日)	募集 15 家族 未就学児 6 名 児童 21 名 男 9 名 女 12 名 中学生 2 名 保護者 27 名 計 15 家族 56 名	三大流星群の一つであるふたご座流星群は、その中でも最大規模の流星群であり、専任講師の解説を聞きながら、参加者全員で流れ星を観賞することで、天体や宇宙に対する興味・関心を抱かせる。
家族で陶芸体験 ※抽選実施 応募総数 29 家族	1 月 16 日 (土)	募集 15 家族 未就学児 2 名 児童 21 名 男 8 名 女 13 名 保護者 18 名 計 15 家族 41 名	粘土を手で成型しながら、手ひねりならではのあたたかい風合いの陶芸作品を親子で作成する。
うどんフェスタ ※抽選実施 応募総数 16 家族	1 月 24 日 (日)	募集 15 家族 未就学児 4 名 児童 21 名 男 8 名 女 13 名 学生 1 名 保護者 20 名 計 15 家族 46 名	親子で手打ちうどん作りにチャレンジしながら、親子のふれあいを深める。
スターハウス in 自然の家 応募総数 8 家族	2 月 8 日 (土)	募集 20 家族 児童 10 名 男 6 名 女 4 名 保護者 9 名 計 8 家族 19 名	専門講師の解説を聞きながら冬の大三角形などの星空を「手作り望遠鏡」で楽しみ、天体や宇宙に対する興味関心を高める。
バンブーの森 応募総数 9 家族	2 月 20 日 (土)	募集 10 家族 未就学児 2 名 児童 12 名 男 6 名 女 6 名 保護者 11 名 計 9 家族 25 名	親子で竹ランタン作りにチャレンジしながらふれあいを深める。

行事名	期日	参加人数	趣旨
ネイチャーデイキャンプ 応募総数 11 家族	3月7日(日)	募集 10 家族 未就学児 名 児童 名 男 名 女 名 保護者 名 計 家族 名	親子でダッチオーブンを使った調理活動に取り組むことで、親子でのコミュニケーションの場を設け、親子の絆を深める。
自然の家コレクション	3月13日(土)	募集 20 家族 児童 名 男 名 女 名 保護者 名 計 家族 名	少年自然の家の活動プログラムを体験してもらい、創作活動に興味を抱きながら親子で楽しい時間を共有する。

5 協 議

(1) 令和3年度運営方針(案)について

ア 運営方針

近年、自然に親しむ機会が減少しつつある子どもたちに、里山の自然の中で野外活動を体験するなどして、情操や社会性を豊かにするとともに、生命や自然を尊重し、環境を大切にすることを育てる。

また、集団生活により、社会生活に必要な規律・友愛・協同・奉仕の精神を育て、未来をリードする心豊かな青少年の育成に努める。

イ 利用促進方策について

子どもたちの心身ともに健やかな成長とさらなる利用者数の増加に向けて、地域特性を生かした新たなプログラムを展開するなど、自然体験活動の拠点としての機能充実に努める。

施策の方針と取組の柱

- 現代的な教育課題への対応
 - ① 体験活動プログラムの充実
 - ② 野外教育の充実
 - ③ 人間関係づくりなど重要課題への対応
- 山根地区の自然を生かした運営
 - ① 立地資源を生かした特色ある事業展開
 - ② 地産地消の推進
 - ③ 天体観測の推進
- 利用校、利用対象の拡大
 - ① 周知・利用の拡充
 - ② 研修の充実
 - ③ 受入環境の充実
- 関係団体等との連携強化
 - ① 自然体験コーディネート機能の強化
 - ② 人的資源の活用

ウ 事業について

利用促進方策に掲げる四つの方針や各方針に掲げる取組の柱、さらには利用者からの要望などを踏まえながら、事業の強化・充実に努めていく。

- 現代的な教育課題への対応
 - ・ライフスキル研修の実施
 - ・試練，チャレンジの機会を与える冒険教育の実施
- 山根地区の自然を生かした運営
 - ・地元農産物の栽培体験や調理体験事業の実施
 - ・地域食材を活用した食事の提供
 - ・天体観測事業の推進
- 利用校，利用対象の拡大
 - ・ホームページ等の充実
 - ・周知範囲の拡大（高等学校，大学等）
- 関係団体等との連携強化
 - ・青少年育成関係団体が行う研修会等の積極的な誘致
 - ・発明クラブなどの各団体とのネットワークの構築

(2) 令和3年度主催事業（案）について

行事名	期日	趣旨	農業 自然	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
四季の体験学習 （森林公園との 共催）	① 田植え 5月15日（土） ② 稲刈り 9月19日（日） ③ 収穫祭 10月24日（日）	緑豊かな少年自然 の家で，四季を通して 自然に親しみながら 米作りや収穫体験を する。	○		○	○	
ウォーターロケ ットプロジェクト	① 7月3日（土） ② 8月28日（土） ③ 10月17日（日） ④ 11月13日（土）	体験を通してロケ ットが飛ぶ仕組みを 学び，宇宙や航空など の科学技術に興味を 抱かせる。		○			○
宇宙探検	7月10日（土） ～7月11日（日）	ペットボトルロケ ット作りや天体観測 の活動を通して，科学 や宇宙の素晴らしさ に気付かせる。		○			○
サマーキャンプ	7月30日（金） ～8月1日（日）	キャンプ生活や野 外活動を通して，心身 を鍛練するとともに， 参加者相互の友情の 輪を広げ，広い心でた くましく実践力のある 青少年を育てる。	○	○	○	○	
秋の味覚狩り	11月6日（土）	自然観察や秋の作物 を収穫する活動を通し て，秋の自然や味覚を 満喫し，親子の心のふ れあいを深める。	○		○		○

行事名	期日	趣旨	農業 自然	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
冬のデコレーション	12月5日(日)	クリスマスまたはお正月にちなんだ創作活動を行う。		○			○
ふたご座流星群 2021	12月11日(土) ～12月12日(日)	三大流星群の一つであるふたご座流星群は、その中でも最大規模の流星群であり、専任講師の解説を聞きながら、参加者全員で流れ星やプラネタリウムを観賞することで、天体や宇宙に対する興味・関心を抱かせる。	○				○
陶芸体験	1月15日(土)	手ひねりならではのあたたかい風合いの陶器作りを親子で体験し、親子のふれあいを深める。		○			○
うどんフェスタ	1月22日(土)	親子で手打ちうどん作りにチャレンジしながら、親子のふれあいを深める。	○	○			○
スターハウス	2月5日(土)	人類で初めて望遠鏡を天体に向けたガリレオに習い、自作の望遠鏡作りに挑戦する。また、望遠鏡の操作方法を学び天体観察の活動を通して、壮大な宇宙や星座に対する探究心を高める。	○	○			○
デイキャンプ	① 2月19日(土) ② 3月19日(土)	親子でダッチオーブンを使った調理活動に取り組むことで、親子でのコミュニケーションの場を設け、親子の絆を深める。	○	○			○
自然の家コレクション	3月26日(土)	少年自然の家の活動プログラムを体験してもらい、創作活動に興味を抱きながら親子で楽しい時間を共有する。	○	○			○

水戸市少年自然の家運営委員会委員名簿

(順不同)

氏 名	役 職	備 考
鈴木 睦	飯富小学校校長	
穂積 弘行	上中妻小学校校長	
長谷川 聡	見川小学校校長	
安島 可子	千波中学校校長	
澤田 幸宏	水戸市子ども会育成連合会会長	
田山 きよ子	水戸市ボーイスカウト・ ガールスカウト連絡協議会副会長	
西野 由希子	茨城大学 人文社会科学部教授	
松橋 義樹	常磐大学 人間科学部助教	
根本 栄寿	山根自治連合会会長	
下出 恒平	公募（株式会社茨城ロボッツ・ スポーツエンターテインメント マネジャー）	

任期 令和元. 7. 8 ~ 令和 3. 7. 7
(補充) (令和 2. 7. 8 ~ 令和 3. 7. 7)